

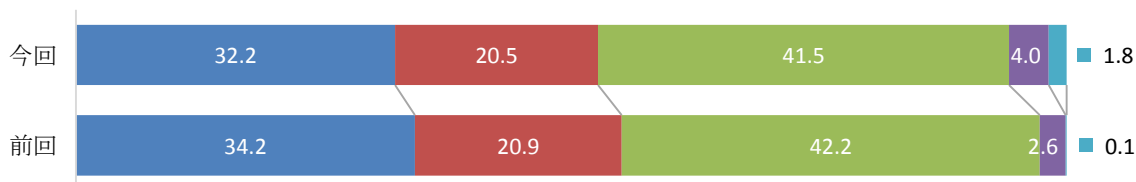
問 11 日本での在留資格を持っている在日外国人が、貸家を探していました。適当なマンションを見つけたので申し込んだところ、外国人であることを理由に、家主は貸すことを断りました。このような家主の態度について、あなたはどのように思いますか。1つ選んで○をつけてください。

(上段：回答者数、下段：回答率)

選択肢	全体	男女比較		年代別比較					
		男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1 外国人という理由でマンションを貸すのを断ったのは差別だと思う	234 32.2%	108 33.3%	125 31.8%	25 39.7%	38 43.7%	28 26.4%	55 37.9%	47 28.0%	41 26.5%
2 マンションを誰に貸すかを決めるのは家主の権利であるから、外国人に貸すのを断っても差別とは言えない	149 20.5%	82 25.3%	65 16.5%	11 17.5%	16 18.4%	16 15.1%	25 17.2%	41 24.4%	40 25.8%
3 いちがいにはいけない	301 41.5%	116 35.8%	183 46.6%	23 36.5%	30 34.5%	59 55.7%	62 42.8%	67 39.9%	59 38.1%
4 分からない	29 4.0%	9 2.8%	16 4.1%	4 6.3%	2 2.3%	2 1.9%	3 2.1%	8 4.8%	9 5.8%
無回答	13 1.8%	9 2.8%	4 1.0%	0 0.0%	1 1.1%	1 0.9%	0 0.0%	5 3.0%	6 3.9%
回答者計	726 100.0%	324 100.0%	393 100.0%	63 100.0%	87 100.0%	106 100.0%	145 100.0%	168 100.1%	155 100.1%

- 外国人という理由でマンションを貸すのを断ったのは差別だと思う
- マンションを誰に貸すかを決めるのは家主の権利であるから、外国人に貸すのを断っても差別とは言えない
- いちがいにはいけない
- 分からない
- 無回答

●前回調査との比較



●男女比較



【結果の分析】

- ・前回同様に、「差別とは言えない」「いちがいにはいけない」という家主の権利が外国人の人権より優先することがあるとする意見が60%を超え、依然として高い水準で推移していることが分かる。中でも「差別とは言えない」と回答した男性の割合が女性より8.8%も多いことが特徴である。「いちがいにはいけない」を選ぶ割合が多いことから、外国人の人権が日本人と同じように尊重されるべきとの考えに立てるように一層の啓発活動が必要である。

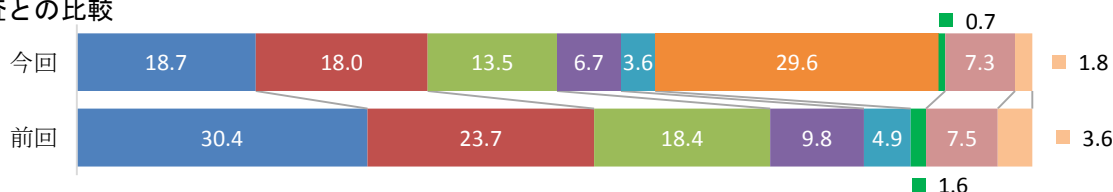
問 12 あなたは、外国人の人権問題を解決するには何が必要であると思いますか。あなたが最も必要であると考えていることを1つ選んで○をつけてください。

(上段：回答者数、下段：回答率)

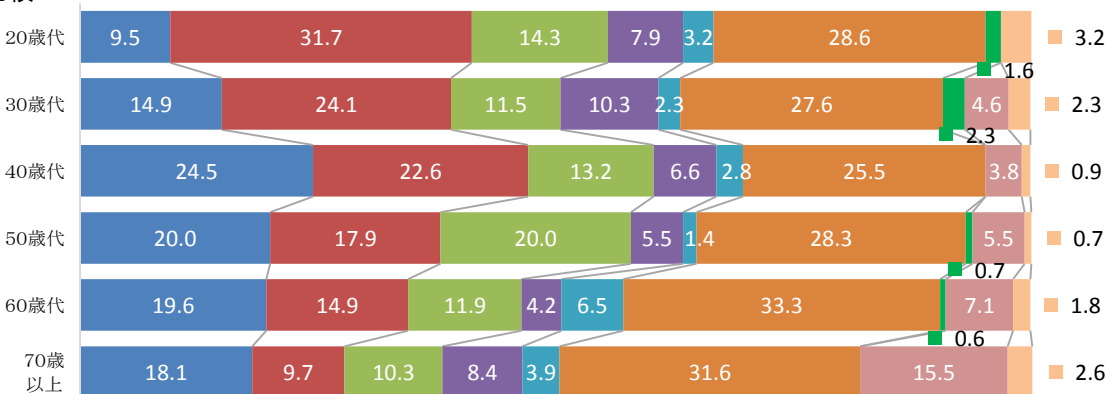
選択肢	全体	男女比較		年代別比較						
		男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
1 外国人が日本の文化や社会事情を理解する	136 18.7%	63 19.4%	70 17.8%	6 9.5%	13 14.9%	26 24.5%	29 20.0%	33 19.6%	28 18.1%	
2 日本人の意識や日本の社会システムを見直す	131 18.0%	63 19.4%	67 17.0%	20 31.7%	21 24.1%	24 22.6%	26 17.9%	25 14.9%	15 9.7%	
3 外国人の言語で対応するなど、相談業務を外国人が活用しやすいようにする	98 13.5%	34 10.5%	63 16.0%	9 14.3%	10 11.5%	14 13.2%	29 20.0%	20 11.9%	16 10.3%	
4 外国人を支援する民間ボランティア団体を育成する	49 6.7%	15 4.6%	34 8.7%	5 7.9%	9 10.3%	7 6.6%	8 5.5%	7 4.2%	13 8.4%	
5 外国人の人権を守るための広報・啓発活動を推進する	26 3.6%	16 4.9%	10 2.5%	2 3.2%	2 2.3%	3 2.8%	2 1.4%	11 6.5%	6 3.9%	
6 外国人との交流の機会を増やし相互に理解を深めるようにする	215 29.6%	103 31.8%	111 28.2%	18 28.6%	24 27.6%	27 25.5%	41 28.3%	56 33.3%	49 31.6%	
7 その他	5 0.7%	3 0.9%	2 0.5%	1 1.6%	2 2.3%	0 0.0%	1 0.7%	1 0.6%	0 0.0%	
8 分からない	53 7.3%	21 6.5%	30 7.6%	0 0.0%	4 4.6%	4 3.8%	8 5.5%	12 7.1%	24 15.5%	
無回答	13 1.8%	6 1.9%	6 1.5%	2 3.2%	2 2.3%	1 0.9%	1 0.7%	3 1.8%	4 2.6%	
回答者計	726 99.9%	324 99.9%	393 99.8%	63 100.0%	87 99.9%	106 99.9%	145 100.0%	168 99.9%	155 100.1%	

- 外国人が日本の文化や社会事情を理解する
- 日本人の意識や日本の社会システムを見直す
- 外国人の言語で対応するなど、相談業務を外国人が活用しやすいようにする
- 外国人を支援する民間ボランティア団体を育成する
- 外国人の人権を守るための広報・啓発活動を推進する
- 外国人との交流の機会を増やし相互に理解を深めるようにする
- その他
- 分からない
- 無回答

● 前回調査との比較



● 年代別比較



【結果の分析】

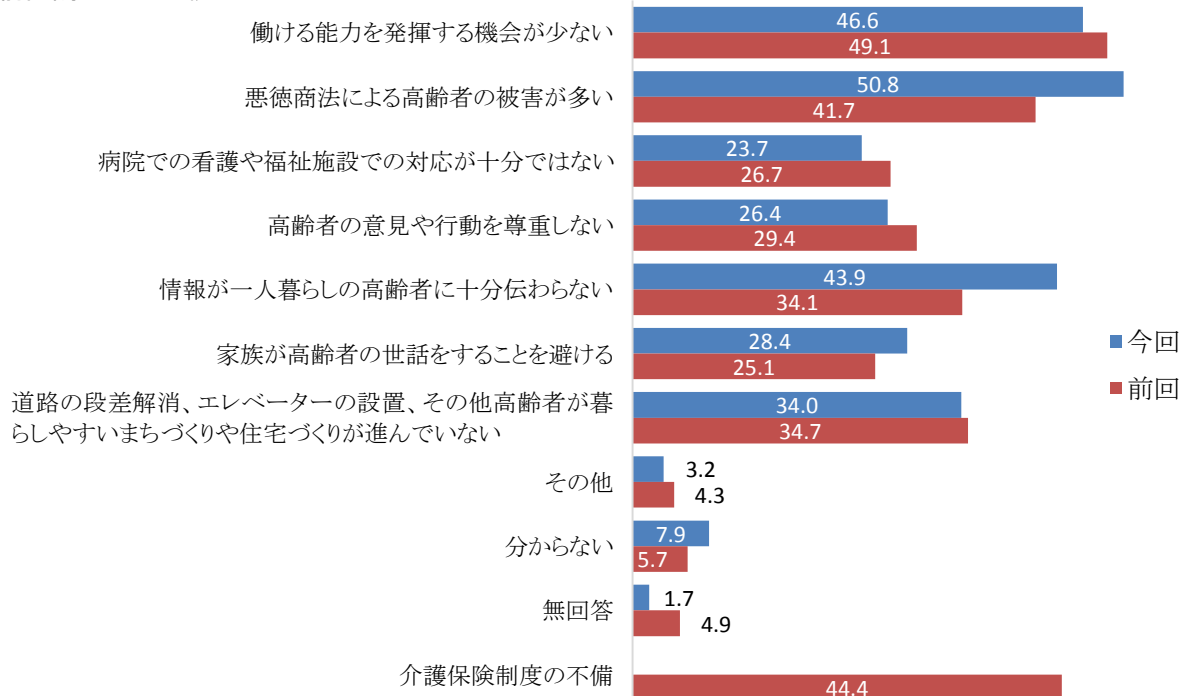
・今回新たに設けた「外国人との交流の機会を増やし相互に理解を深めるようにする」の回答が 29.6% と一番高い割合を示し、また、若い世代を中心に「日本人の意識や日本の社会システムを見直す」が高く、自らが外国人を理解し積極的にかかわろうとしている意識が表れている。一方で、「外国人が日本の文化や社会事情を理解する」の回答も多い。多文化共生の社会に向けて、外国人も日本人も互いに、それぞれの文化や習慣の違いを認識した行動が求められている。これまで以上に相互理解を深める取組が必要である。

問 13 あなたが、高齢者の人権が尊重されていないと感じるのはどのようなときですか。3つ選んで○をつけてください。

(上段：回答数、下段：回答率)

選択肢	全体	男女比較		年代別比較					
		男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1 働ける能力を発揮する機会が少ない	338 46.6%	152 46.9%	182 46.3%	22 34.9%	38 43.7%	52 49.1%	72 49.7%	84 50.0%	68 43.9%
2 悪徳商法による高齢者の被害が多い	369 50.8%	147 45.4%	217 55.2%	37 58.7%	49 56.3%	52 49.1%	85 58.6%	69 41.1%	76 49.0%
3 病院での看護や福祉施設での対応が十分ではない	172 23.7%	85 26.2%	87 22.1%	15 23.8%	26 29.9%	24 22.6%	38 26.2%	39 23.2%	30 19.4%
4 高齢者の意見や行動を尊重しない	192 26.4%	89 27.5%	100 25.4%	15 23.8%	27 31.0%	26 24.5%	30 20.7%	50 29.8%	43 27.7%
5 情報が一人暮らしの高齢者に十分伝わらない	319 43.9%	138 42.6%	176 44.8%	25 39.7%	35 40.2%	43 40.6%	73 50.3%	72 42.9%	69 44.5%
6 家族が高齢者の世話をすることを避ける	206 28.4%	99 30.6%	105 26.7%	18 28.6%	18 20.7%	27 25.5%	36 24.8%	58 34.5%	49 31.6%
7 道路の段差解消、エレベーターの設置、その他高齢者が暮らしやすいまちづくりや住宅づくりが進んでいない	247 34.0%	100 30.9%	146 37.2%	22 34.9%	29 33.3%	40 37.7%	55 37.9%	55 32.7%	46 29.7%
8 その他	23 3.2%	9 2.8%	13 3.3%	1 1.6%	3 3.4%	3 2.8%	7 4.8%	4 2.4%	5 3.2%
9 分からない	57 7.9%	28 8.6%	28 7.1%	8 12.7%	9 10.3%	7 6.6%	7 4.8%	9 5.4%	17 11.0%
無回答	12 1.7%	6 1.9%	6 1.5%	0 0.0%	1 1.1%	2 1.9%	1 0.7%	5 3.0%	3 1.9%
回答者計	726	324	393	63	87	106	145	168	155

● 前回調査との比較



【結果の分析】

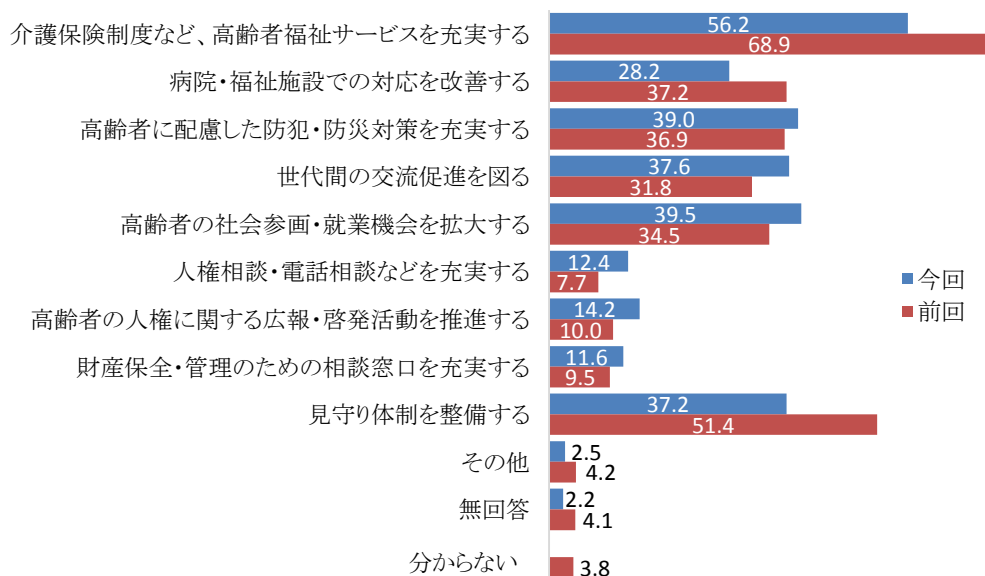
- ・前回に比べ割合が高まった項目は、「悪徳商法による高齢者の被害が多い」(9.1%増)と「情報が一人暮らしの高齢者に十分伝わらない」(9.8%増)であるが、これは近年発生している特殊詐欺の影響と思われる。
- ・また、「働ける能力を発揮する機会が少ない」が46.6%と依然として高いことから、高齢者の就労支援も重要である。

問 14 高齢者の人権が尊重されるには何が必要と考えますか。あなたの考えに近いものを3つ選んで○をつけてください。

(上段：回答数、下段：回答率)

選択肢	全体	男女比較		年代別比較					
		男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1 介護保険制度など、高齢者福祉サービスを充実する	408 56.2%	182 56.2%	222 56.5%	32 50.8%	53 60.9%	56 52.8%	73 50.3%	90 53.6%	102 65.8%
2 病院・福祉施設での対応を改善する	205 28.2%	98 30.2%	106 27.0%	22 34.9%	23 26.4%	26 24.5%	44 30.3%	47 28.0%	42 27.1%
3 高齢者に配慮した防犯・防災対策を充実する	283 39.0%	113 34.9%	164 41.7%	28 44.4%	38 43.7%	40 37.7%	69 47.6%	48 28.6%	59 38.1%
4 世代間の交流促進を図る	273 37.6%	115 35.5%	156 39.7%	24 38.1%	31 35.6%	53 50.0%	56 38.6%	67 39.9%	42 27.1%
5 高齢者の社会参画・就業機会を拡大する	287 39.5%	137 42.3%	150 38.2%	20 31.7%	42 48.3%	38 35.8%	65 44.8%	80 47.6%	42 27.1%
6 人権相談・電話相談などを充実する	90 12.4%	46 14.2%	41 10.4%	5 7.9%	5 5.7%	10 9.4%	14 9.7%	28 16.7%	27 17.4%
7 高齢者の人権に関する広報・啓発活動を推進する	103 14.2%	50 15.4%	51 13.0%	8 12.7%	7 8.0%	13 12.3%	22 15.2%	24 14.3%	29 18.7%
8 財産保全・管理のための相談窓口を充実する	84 11.6%	37 11.4%	46 11.7%	6 9.5%	9 10.3%	13 12.3%	21 14.5%	23 13.7%	12 7.7%
9 見守り体制を整備する	270 37.2%	95 29.3%	171 43.5%	24 38.1%	37 42.5%	42 39.6%	52 35.9%	60 35.7%	54 34.8%
10 その他	18 2.5%	13 4.0%	5 1.3%	4 6.3%	0 0.0%	5 4.7%	3 2.1%	4 2.4%	2 1.3%
無回答	16 2.2%	9 2.8%	6 1.5%	0 0.0%	2 2.3%	1 0.9%	1 0.7%	4 2.4%	8 5.2%
回答者計	726	324	393	63	87	106	145	168	155

●前回調査との比較



【結果の分析】

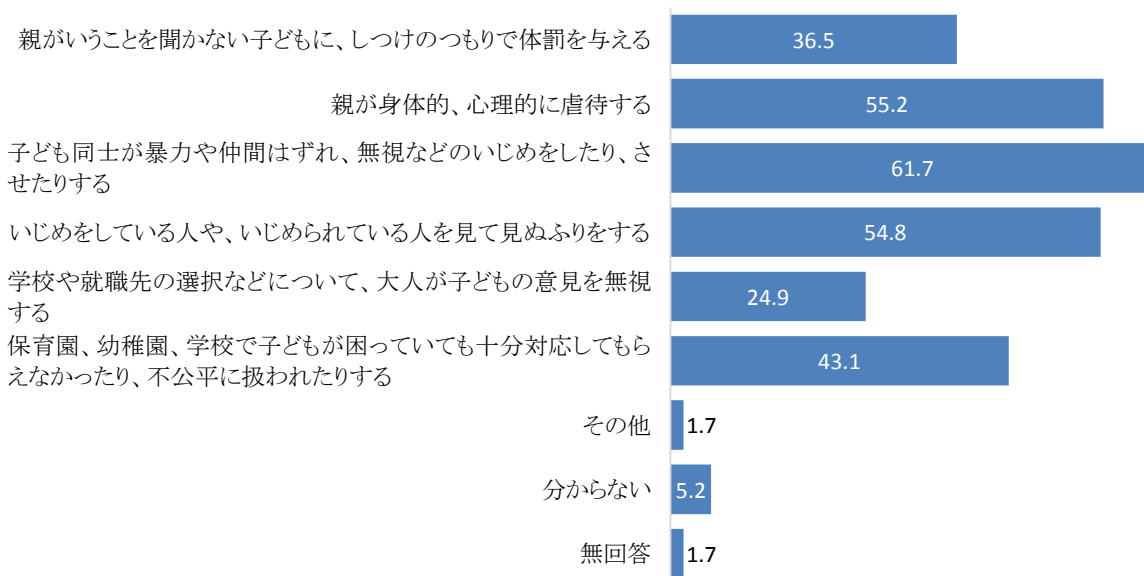
- ・「介護保険制度など、高齢者福祉サービスを充実する」が 56.2%と最も高い。併せて、「世代間の交流を図る」と「高齢者の社会参加・就業機会を拡大する」がともに高いことは、高齢者の皆さんがより健康で豊かな生活を送るために、積極的な社会参加や主体的な生活への意欲が高いためと考えられる。
- ・また、前回と比べて割合が高くなっている項目に「高齢者に配慮した防犯・防災対策を充実する」があるが、これは高齢者を狙った悪質な犯罪や、高齢者が犠牲となる交通事故、建物火災など近年の社会情勢が影響しているものと思われる。

問 15 子どもの人権が尊重されていないと感じるのはどのようなときですか。あなたの考えに近いものを3つ選んで○をつけてください。

(上段：回答数、下段：回答率)

選択肢	全体	男女比較		年代別比較					
		男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1 親がいうことを聞かない子どもに、しつけのつもりで体罰を与える	265 36.5%	111 34.3%	146 37.2%	21 33.3%	28 32.2%	33 31.1%	61 42.1%	62 36.9%	58 37.4%
2 親が身体的、心理的に虐待する	401 55.2%	159 49.1%	240 61.1%	46 73.0%	52 59.8%	72 67.9%	87 60.0%	81 48.2%	63 40.6%
3 子ども同士が暴力や仲間はずれ、無視などのいじめをしたり、させたりする	448 61.7%	195 60.2%	249 63.4%	40 63.5%	53 60.9%	67 63.2%	105 72.4%	103 61.3%	79 51.0%
4 いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする	398 54.8%	196 60.5%	198 50.4%	23 36.5%	46 52.9%	55 51.9%	82 56.6%	106 63.1%	85 54.8%
5 学校や就職先の選択などについて、大人が子どもの意見を無視する	181 24.9%	93 28.7%	86 21.9%	20 31.7%	33 37.9%	29 27.4%	21 14.5%	38 22.6%	39 25.2%
6 保育園、幼稚園、学校で子どもが困っていても十分対応してもらえなかったり、不公平に扱われたりする	313 43.1%	135 41.7%	174 44.3%	30 47.6%	34 39.1%	46 43.4%	63 43.4%	77 45.8%	62 40.0%
7 その他	12 1.7%	7 2.2%	5 1.3%	0 0.0%	4 4.6%	3 2.8%	4 2.8%	1 0.6%	0 0.0%
8 分からない	38 5.2%	20 6.2%	17 4.3%	2 3.2%	1 1.1%	4 3.8%	3 2.1%	7 4.2%	21 13.5%
無回答	12 1.7%	5 1.5%	7 1.8%	0 0.0%	2 2.3%	1 0.9%	0 0.0%	4 2.4%	5 3.2%
回答者計	726	324	393	63	87	106	145	168	155

●今回の調査結果



【結果の分析】

- ・「子ども同士のいじめ」「親からの虐待」及び「いじめの傍観者」の割合が高くなっている。いずれも子どもが被害者となる重大な人権侵害であり、家庭と学校で人権教育、人権意識の啓発を行う必要がある。また同時に関係機関が連携し、早期発見や発生時の早期救済、擁護、子どもの育ちを支えるための親支援など予防対策に適切に取り組む必要がある。

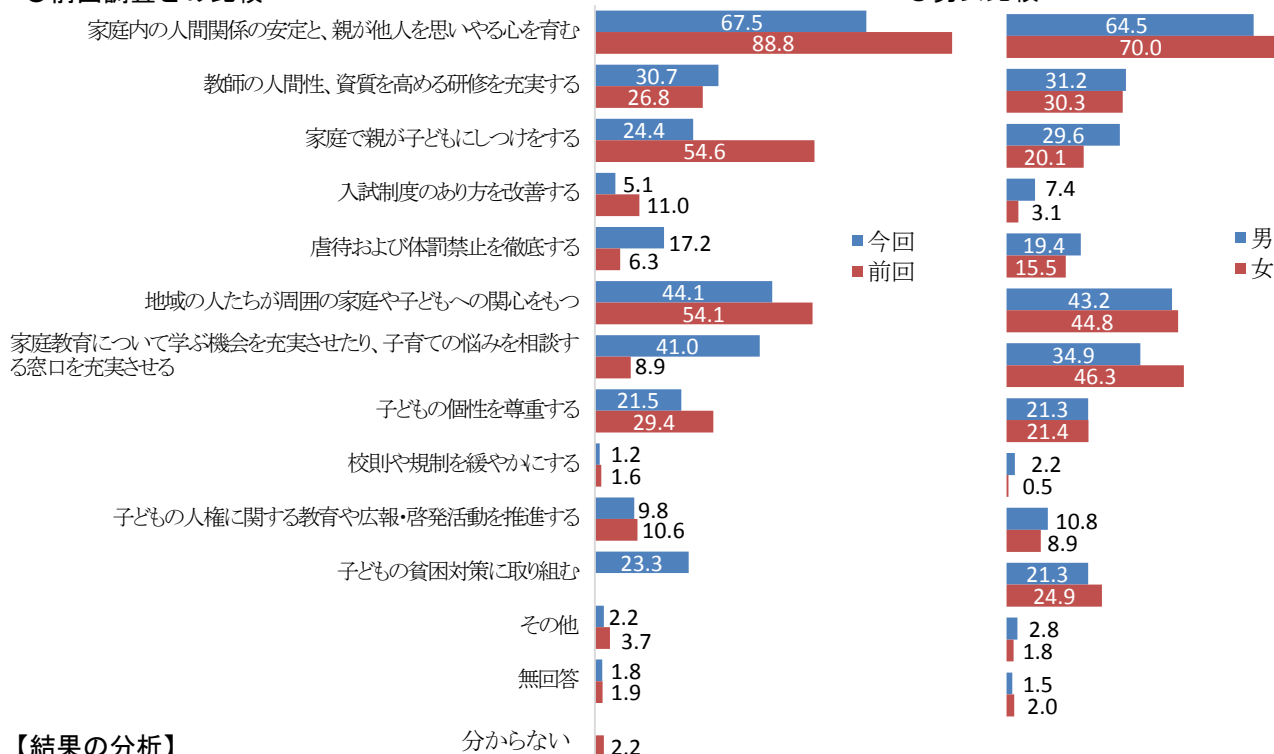
問 16 乳幼児の虐待など、子どもの人権が侵される事件が相次いでいますが、子どもの人権を守るために必要なことは何ですか。あなたの考えに近いものを3つ選んで○をつけてください。

(上段：回答数、下段：回答率)

選択肢	全体	男女比較		年代別比較						
		男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
1 家庭内の人間関係の安定と、親が他人を思いやる心を育む	490 67.5%	209 64.5%	275 70.0%	33 52.4%	64 73.6%	75 70.8%	94 64.8%	110 65.5%	113 72.9%	
2 教師の人間性、資質を高める研修を充実する	223 30.7%	101 31.2%	119 30.3%	23 36.5%	24 27.6%	30 28.3%	45 31.0%	55 32.7%	45 29.0%	
3 家庭で親が子どもにしつけをする	177 24.4%	96 29.6%	79 20.1%	8 12.7%	17 19.5%	25 23.6%	30 20.7%	39 23.2%	57 36.8%	
4 入試制度のあり方を改善する	37 5.1%	24 7.4%	12 3.1%	2 3.2%	5 5.7%	8 7.5%	6 4.1%	5 3.0%	10 6.5%	
5 虐待および体罰禁止を徹底する	125 17.2%	63 19.4%	61 15.5%	19 30.2%	17 19.5%	12 11.3%	29 20.0%	26 15.5%	22 14.2%	
6 地域の人たちが周囲の家庭や子どもへの関心をもつ	320 44.1%	140 43.2%	176 44.8%	28 44.4%	42 48.3%	46 43.4%	67 46.2%	76 45.2%	61 39.4%	
7 家庭教育について学ぶ機会を充実させたり、子育ての悩みを相談する窓口を充実させる	298 41.0%	113 34.9%	182 46.3%	23 36.5%	36 41.4%	45 42.5%	61 42.1%	76 45.2%	57 36.8%	
8 子どもの個性を尊重する	156 21.5%	69 21.3%	84 21.4%	26 41.3%	23 26.4%	20 18.9%	25 17.2%	36 21.4%	25 16.1%	
9 校則や規制を緩やかにする	9 1.2%	7 2.2%	2 0.5%	4 6.3%	1 1.1%	1 0.9%	0 0.0%	1 0.6%	2 1.3%	
10 子どもの人権に関する教育や広報・啓発活動を推進する	71 9.8%	35 10.8%	35 8.9%	5 7.9%	6 6.9%	5 4.7%	20 13.8%	21 12.5%	14 9.0%	
11 子どもの貧困対策に取り組む	169 23.3%	69 21.3%	98 24.9%	14 22.2%	19 21.8%	39 36.8%	40 27.6%	34 20.2%	22 14.2%	
12 その他	16 2.2%	9 2.8%	7 1.8%	2 3.2%	2 2.3%	4 3.8%	2 1.4%	3 1.8%	3 1.9%	
無回答	13 1.8%	5 1.5%	8 2.0%	0 0.0%	1 1.1%	1 0.9%	1 0.7%	4 2.4%	6 3.9%	
回答者計	726	324	393	63	87	106	145	168	155	

●前回調査との比較

●男女比較



【結果の分析】

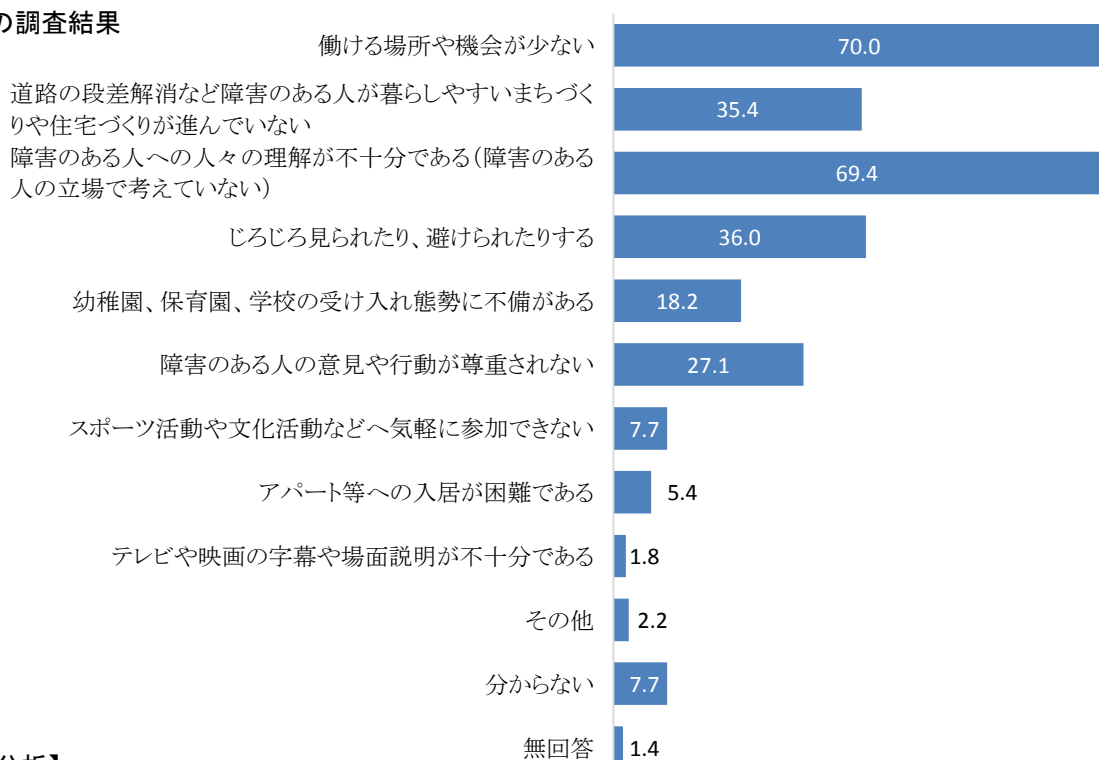
・「家庭内の人間関係の安定と、親が他人を思いやる心を育む」が全体の67.5%であることや、前回と比較して「家庭教育について学ぶ機会を充実させたり、子育ての悩みを相談する窓口を充実させる」が急伸しているなど、家庭の役割の重要性を挙げている回答が多い。そのほか、今回新たに追加した選択肢「子どもの貧困対策に取り組む」の回答が23.3%であることや、いずれも女性の回答率が高いことも特徴的である。新たな社会現象への対応が強く求められている中で、子育てについて学ぶ機会や悩みを語り合う場の提供、相談しやすい工夫など、親世代への支援を充実していく必要がある。

問 17 あなたは、どのようなことで障害のある人の人権が尊重されていないと感じますか。あなたの考えに近いものを3つ選んで○をつけてください。

(上段：回答数、下段：回答率)

選択肢	全体	男女比較		年代別比較						
		男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
1 働ける場所や機会が少ない	508 70.0%	243 75.0%	261 66.4%	41 65.1%	63 72.4%	76 71.7%	112 77.2%	118 70.2%	97 62.6%	
2 道路の段差解消など障害のある人が暮らしやすいまちづくりや住宅づくりが進んでいない	257 35.4%	114 35.2%	140 35.6%	22 34.9%	25 28.7%	36 34.0%	55 37.9%	61 36.3%	56 36.1%	
3 障害のある人への人々の理解が不十分である(障害のある人の立場で考えていない)	504 69.4%	222 68.5%	278 70.7%	40 63.5%	65 74.7%	73 68.9%	109 75.2%	111 66.1%	105 67.7%	
4 じろじろ見られたり、避けられたりする	261 36.0%	98 30.2%	161 41.0%	33 52.4%	37 42.5%	33 31.1%	54 37.2%	61 36.3%	43 27.7%	
5 幼稚園、保育園、学校の受け入れ態勢に不備がある	132 18.2%	64 19.8%	66 16.8%	8 12.7%	12 13.8%	19 17.9%	31 21.4%	36 21.4%	25 16.1%	
6 障害のある人の意見や行動が尊重されない	197 27.1%	95 29.3%	101 25.7%	12 19.0%	28 32.2%	30 28.3%	29 20.0%	58 34.5%	39 25.2%	
7 スポーツ活動や文化活動などへ気軽に参加できない	56 7.7%	32 9.9%	22 5.6%	8 12.7%	6 6.9%	7 6.6%	10 6.9%	10 6.0%	15 9.7%	
8 アパート等への入居が困難である	39 5.4%	18 5.6%	20 5.1%	5 7.9%	4 4.6%	8 7.5%	6 4.1%	7 4.2%	9 5.8%	
9 テレビや映画の字幕や場面説明が不十分である	13 1.8%	6 1.9%	7 1.8%	1 1.6%	2 2.3%	1 0.9%	2 1.4%	2 1.2%	5 3.2%	
10 その他	16 2.2%	10 3.1%	6 1.5%	1 1.6%	3 3.4%	2 1.9%	4 2.8%	4 2.4%	2 1.3%	
11 分からない	56 7.7%	22 6.8%	32 8.1%	6 9.5%	5 5.7%	9 8.5%	6 4.1%	9 5.4%	21 13.5%	
無回答	10 1.4%	4 1.2%	5 1.3%	0 0.0%	1 1.1%	1 0.9%	0 0.0%	3 1.8%	5 3.2%	
回答者計	726	324	393	63	87	106	145	168	155	

● 今回の調査結果



【結果の分析】

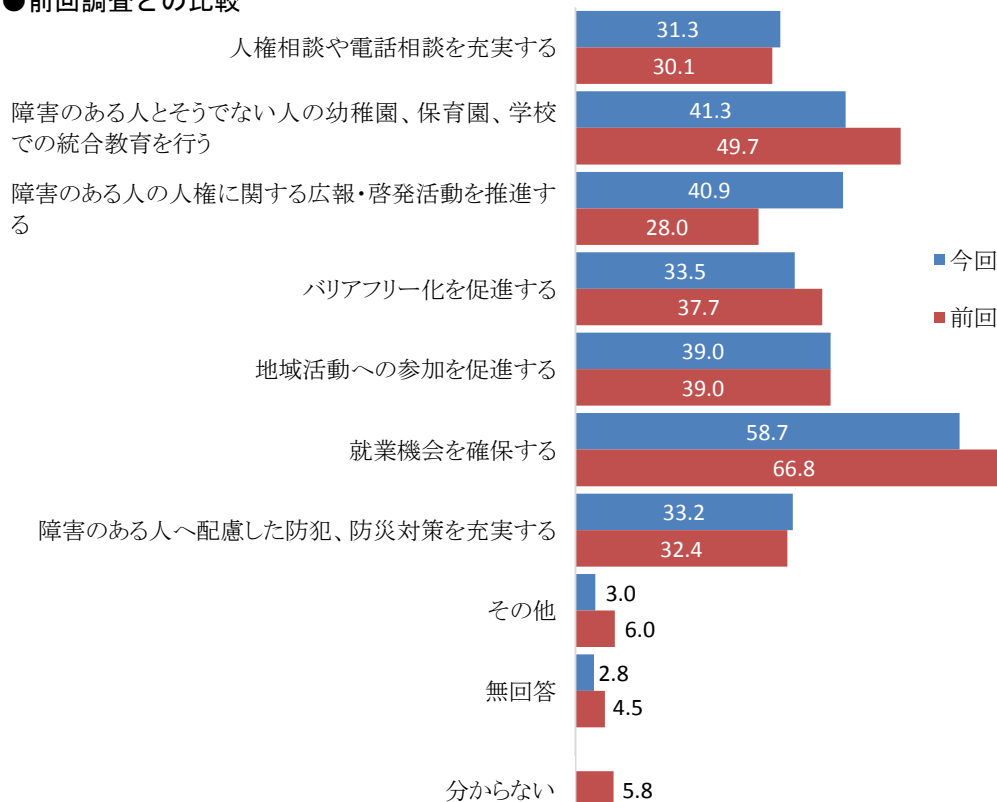
・全体の約70%の人が「働ける場所や機会が少ない」と「障害のある人への人々の理解が不十分である」を挙げている。そのほか「障害のある人の意見や行動が尊重されない」など偏見や差別につながる意識の問題を挙げる人の割合が高いことも特徴である。バリアフリーの促進などに対応することは当然のこと、障害のある人に対する市民の理解を深める場をつくり、就労に結び付ける取組が必要である。

問 18 障害のある人の人権を守るためには何が必要ですか。あなたが必要だと思うものを3つ選んで○をつけてください。

(上段：回答数、下段：回答率)

選択肢	全体	男女比較		年代別比較					
		男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1 人権相談や電話相談を充実する	227 31.3%	120 37.0%	103 26.2%	15 23.8%	25 28.7%	24 22.6%	41 28.3%	51 30.4%	70 45.2%
2 障害のある人とそうでない人の幼稚園、保育園、学校での統合教育を行う	300 41.3%	108 33.3%	190 48.3%	23 36.5%	37 42.5%	52 49.1%	64 44.1%	72 42.9%	52 33.5%
3 障害のある人の人権に関する広報・啓発活動を推進する	297 40.9%	156 48.1%	139 35.4%	26 41.3%	31 35.6%	44 41.5%	60 41.4%	64 38.1%	71 45.8%
4 バリアフリー化を促進する	243 33.5%	105 32.4%	136 34.6%	31 49.2%	38 43.7%	37 34.9%	44 30.3%	50 29.8%	42 27.1%
5 地域活動への参加を促進する	283 39.0%	134 41.4%	146 37.2%	23 36.5%	38 43.7%	39 36.8%	56 38.6%	77 45.8%	49 31.6%
6 就業機会を確保する	426 58.7%	180 55.6%	244 62.1%	43 68.3%	57 65.5%	69 65.1%	98 67.6%	96 57.1%	62 40.0%
7 障害のある人へ配慮した防犯、防災対策を充実する	241 33.2%	113 34.9%	125 31.8%	15 23.8%	27 31.0%	32 30.2%	50 34.5%	55 32.7%	61 39.4%
8 その他	22 3.0%	9 2.8%	13 3.3%	3 4.8%	3 3.4%	4 3.8%	7 4.8%	3 1.8%	2 1.3%
無回答	20 2.8%	8 2.5%	9 2.3%	1 1.6%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	6 3.6%	12 7.7%
回答者計	726	324	393	63	87	106	145	168	155

●前回調査との比較



【結果の分析】

- ・「就業機会の確保」「統合教育の実施」及び「広報・啓発活動の推進」の回答が高くなっている。「就業機会の確保」は、障害のある人の人権を守るために最も重要であると考えられている。また前回との比較で、「広報・啓発活動の推進」が12.9%高まっている。障害のある人の人権を守るためには、市民はもとより、企業に向けた啓発など、実効性のある取組をしていく必要がある。

問 19 あなたは、日本の社会に「被差別部落」と呼ばれていた同和地区、あるいは「同和問題」といわれている問題があることを知っていますか。1つ選んで○をつけてください。

(上段：回答者数、下段：回答率)

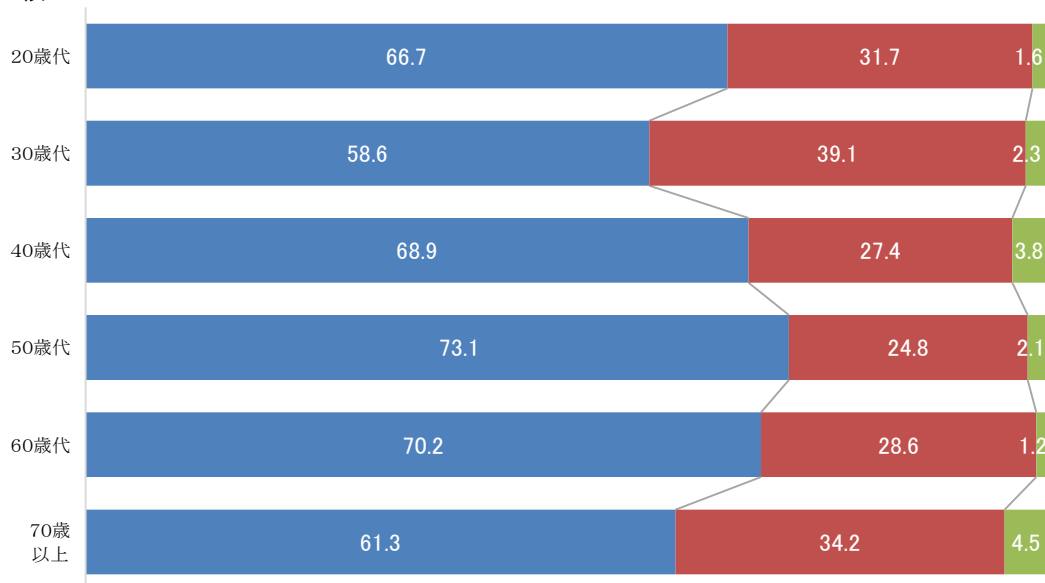
選択肢		全体	男女比較		年代別比較					
			男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1	知っている	485 66.8%	226 69.8%	256 65.1%	42 66.7%	51 58.6%	73 68.9%	106 73.1%	118 70.2%	95 61.3%
2	知らない	222 30.6%	92 28.4%	126 32.1%	20 31.7%	34 39.1%	29 27.4%	36 24.8%	48 28.6%	53 34.2%
無回答		19 2.6%	6 1.9%	11 2.8%	1 1.6%	2 2.3%	4 3.8%	3 2.1%	2 1.2%	7 4.5%
回答者計		726 100.0%	324 100.1%	393 100.0%	63 100.0%	87 100.0%	106 100.1%	145 100.0%	168 100.0%	155 100.0%

■ 知っている ■ 知らない ■ 無回答

● 今回の調査結果



● 年代別比較



【結果の分析】

・「知らない」と回答した人が3割に達していることは、一層の啓発が必要であることを示している。年代別には20歳代、30歳代が比較的高くなっていることから、若年層を中心に啓発を進める必要がある。

問 20 あなたが被差別部落や同和問題について初めて知ったのはいつ頃ですか。1つ選んで○をつけてください。

(上段：回答者数、下段：回答率)

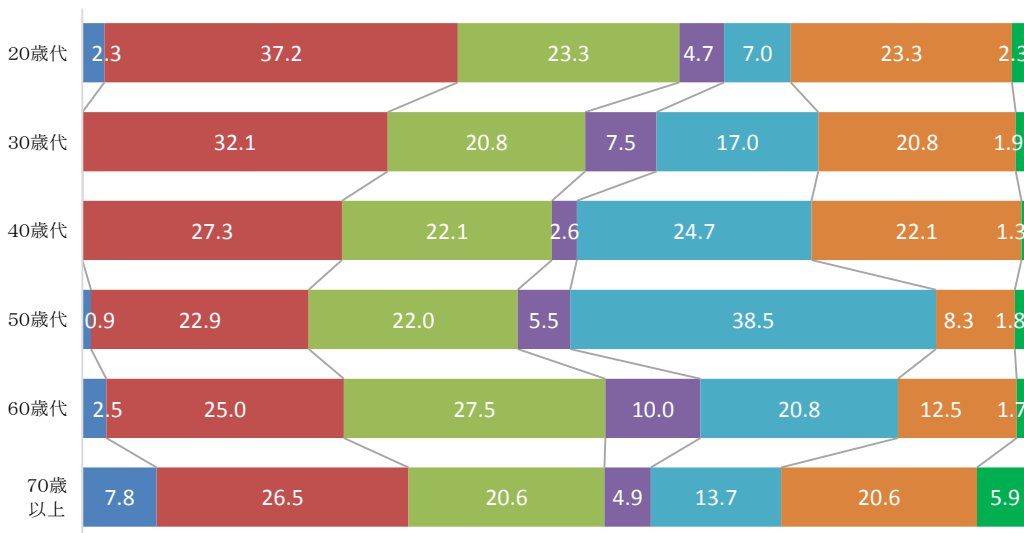
選択肢	全体	男女比較		年代別比較					
		男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1 小学校入学以前	13 2.6%	5 2.2%	6 2.2%	1 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%	3 2.5%	8 7.8%
2 小学生の頃	136 27.0%	62 26.7%	73 27.3%	16 37.2%	17 32.1%	21 27.3%	25 22.9%	30 25.0%	27 26.5%
3 中学生の頃	116 23.0%	58 25.0%	57 21.3%	10 23.3%	11 20.8%	17 22.1%	24 22.0%	33 27.5%	21 20.6%
4 高校生の頃	31 6.2%	14 6.0%	17 6.4%	2 4.7%	4 7.5%	2 2.6%	6 5.5%	12 10.0%	5 4.9%
5 19歳以降	112 22.2%	54 23.3%	58 21.7%	3 7.0%	9 17.0%	19 24.7%	42 38.5%	25 20.8%	14 13.7%
6 はっきりと覚えていない	83 16.5%	34 14.7%	48 18.0%	10 23.3%	11 20.8%	17 22.1%	9 8.3%	15 12.5%	21 20.6%
無回答	13 2.6%	5 2.2%	8 3.0%	1 2.3%	1 1.9%	1 1.3%	2 1.8%	2 1.7%	6 5.9%
回答者計	504 100.1%	232 100.1%	267 99.9%	43 100.1%	53 100.1%	77 100.1%	109 99.9%	120 100.0%	102 100.0%

■ 小学校入学以前 ■ 小学生の頃 ■ 中学生の頃 ■ 高校生の頃 ■ 19歳以降 ■ はっきりと覚えていない ■ 無回答

● 前回調査との比較



● 年代別比較



【結果の分析】

・「小学生の頃」「中学生の頃」及び「高校生の頃」を合わせた割合が 56.2%で、特に 20 歳代が 65.2%、30 歳代が 60.4%と高くなっていること、前回調査より増加していることなど、当市学校同和教育の成果が見受けられる。